

中心静脈カテーテル挿入に関する機械的合併症発生の関連因子の 検索と合併症軽減への対策 ―後方視的観察研究―

1. 研究の対象

杏林大学医学部附属病院中央集中治療室において、2008年6月から2023年11月までに中心静脈カテーテル挿入し観察シートを提出された患者さんが対象です。

2. 研究の目的および方法

目的：中心静脈カテーテル挿入時の機械的合併症（動脈誤穿刺、血腫、気胸、静脈内迷入、穿刺不成功など）発生の現状把握と関連因子（患者背景、穿刺部位、カテーテル挿入危険因子、穿刺資格、超音波装置使用、穿刺回数など）の検討を後ろ向きに行い、その結果を周知することにより、組織の安全管理の文化を構築します。

方法：収集した観察シートの記載内容をデータシートにまとめ、集計を行います。解析はコンピュータソフトウェアによる統計学的手法を用います。

研究期間：倫理委員会承認後～2024年11月30日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：用いません。

情報：観察シート（年齢、性別、病名、挿入目的、挿入部位、カテーテル挿入危険因子、バイタルサインなど）

4. 試料・情報の公表

本研究で得られた成果は学術集会における講演、学術雑誌への掲載により公開いたしますが、個人が特定できるような情報はすべて排除いたします。プライバシーを侵害する恐れはまったくありません。

5. お問い合わせ

情報が当該研究に用いられることについて患者さんやご家族の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究代表者：杏林大学医学部麻酔科学 萬 知子

連絡先：杏林大学医学部麻酔科学

萬 知子

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2

Tel: 0422-47-5511 (内線 2410)

Fax: 0422-43-1504 e mail: tyorozu@ks.kyorin-u.ac.jp